



## 外国出張報告書

平成 27 年 10 月 6 日

1. 出張国名      ラオス
2. 出張月        平成 27 年 9 月
3. 出張目的      水田養魚試験のモニタリング、ミズアブ幼虫混合餌料の有効性検証  
ミズアブ幼虫飼育の現地で入手可能な効率的飼料の試行準備および村に設置した成虫トラップの状況確認、ミズアブ幼虫混合餌料の有効性検証：C

#### 4. 成果の概要

7月22日に田植え、8月7日に養魚放流を行った圃場において、同位体分析用標本の採集を行った。また、ミズアブ幼虫の餌料としての有効性を検証するための飼育試験について開始後85日目までのデータについて取りまとめを行ったところ、同種幼虫は有効な餌料タンパク質源であることが強く示唆された。また、ナムアン村に導入したミズアブ成虫用トラップは、村で入手できるスイカ・パイナップル・メロンなどの果皮をミズアブ幼虫の餌として利用することで、継続的に野外成虫を誘引して産卵させ、良好に維持されていた。上記の果実が得られない乾期に備え、周辺に自生する植物からサイレージを作成し幼虫の餌とする実験の準備を進めた。